

平成25年活動報告 (平成25年1月1日～平成25年12月31日)

◎ 会員数 (平成25年12月31日現在)

260名 (専門医会員50名、検査士会員203名、医師会員7名)

◎ 支部の活動

1) 平成25年日本臨床細胞学会京都府支部総会ならびに第26回生活習慣病予防検診細胞診従事者研修会*

日時：平成25年2月3日(日)13時00分～17時10分

会場：アークレイ京都研究所

参加者数：75名 (専門医15名、検査士60名)

内容： 講演1 『肺癌細胞診 Up to Date』 堀 隆 先生 (富山大学)

講演2 『肺癌早期診断へのアプローチ』 中泉 明彦 先生 (京都大学)

講演3 症例検討会『報告書作成に向けた所見のまとめ方について』 岡部 英俊 先生 (滋賀医科大学)

2) 子宮の日 子宮頸がん検診啓発活動

期日：平成25年4月14日(日)

会場：イオンモール KYOTO

内容：講演、パネルディスカッション、演奏会、ダンス等

スタッフ：細胞検査士14名 検査技師10名 その他4名の計26名

一般参加者数：約700名

3) 第6回京都細胞診ワークショップ

期日：平成25年7月20日(土)

会場：京都保健衛生専門学校

参加者数：23名

テーマ：「肺癌の細胞診」講義およびワークショップ

講師：豊山 浩祥 技師 (京都桂病院 検査科)

4) 第30回日本臨床細胞学会京都府支部学術集会

期日：平成25年7月14日(日)

会場：京都大学百周年時計台記念国際ホール

参加者数：106名 (専門医：16名、検査士：85名、その他：5名)

〔特別講演1〕

『悪性中皮腫診断における体腔液細胞診の意義と今後の展望』

亀井 敏昭 先生 山口県立総合医療センター病理科

〔特別講演2〕

『イレッサが教えたもの—EGFR 遺伝子変異検査、臨床試験、肺障害と日本人の遺伝的特異性—』

萩原 弘一先生 埼玉医科大学病院呼吸器病センター・呼吸器内科

〔要望講演 (ランチョンセミナー)〕

『日本臨床細胞学会京都府支部30年の歩み』

(I) 支部の設立とその後の発展 中山 啓三 先生 株式会社ジェ・シ・アル

(II) 支部の成長と将来課題 土橋 康成 先生 (財)レイ・パストゥール医学研究センター

〔一般演題〕

① 多形性を認めた *Cryptococcus neoformans* の一例

市立敦賀病院医療技術部検査室¹⁾、金沢大学医薬保健研究域医学系形態機能病理学講座²⁾

○竹腰友博(CT)¹⁾、秋山綾子(CT)¹⁾、高島和佳(CT)¹⁾、中沼安二(MD)²⁾、原田憲一(MD)²⁾

② 胆管擦過細胞診における従来法(ブラシ擦過)とLBC法(ThinPrep)の細胞所見の検討

京都医療センター臨床検査科¹⁾病理診断科²⁾、京都大学医学部付属病院病理診断科³⁾

○大上哲也(CT)¹⁾、鶴田康倫(CT)¹⁾、木下晴希(CT)¹⁾、森吉弘毅(MD)²⁾、山本鉄郎(MD)²⁾、南口早智子(MD)³⁾

- ③ 子宮頸部 LBC 標本を用いた HPV L1 カプシド蛋白免疫染色と p16/Ki-67 二重染色の意義
京都大学医学部附属病院病理診断科
○白波瀬浩幸(CT), 三上芳喜(MD), 白井孝夫(CT), 平田勝啓(CT), 古畑彩子(CT), 辻眞里子(CT), 南口早智子(MD), 宮川文(MD), 住吉真治(MD), 片岡竜貴(MD), 羽賀博典(MD)
- ④ リンパ節捺印細胞診における血管周囲間質細胞集塊の出現意義について
京都市立病院臨床検査技術科¹⁾, 同病理診断科²⁾, 大阪赤十字病院病理部³⁾
○野田みゆき(CT)¹⁾, 三宅秀一(CT)¹⁾, 川辺民昭(CT)¹⁾, 古市佳也(CT)¹⁾, 河野文彦(MD)²⁾, 若狭朋子(MD)³⁾, 新宅雅幸(MD)³⁾
- ⑤ EUS-FNA で採取法を工夫し、診断しえたホジキンリンパ腫の一例
京都民医連中央病院病理技術課¹⁾病理診断科²⁾
○人見裕子(CT)¹⁾, 齊藤友紀(CT)¹⁾, 木村洋一(CT)¹⁾, 林孝俊(CT)¹⁾ 神崎由佳(CT)²⁾, 藤田葉子(MD)²⁾
- ⑥ 胸水に腫瘍細胞が出現した仙骨原発脊索腫の 1 例
京都大学医学部附属病院病理診断科
○白井孝夫(CT), 辻眞里子(CT), 古畑彩子(CT) 平田勝啓(CT), 白波瀬浩幸(CT), 片岡竜貴(MD), 住吉真治(MD), 宮川文(MD), 南口早智子(MD), 三上芳喜(MD), 羽賀博典(MD)
- ⑦ 判別しに苦慮した胸水の一例 ～臨床所見:80 歳代、男性、左胸水のみ～
株式会社 ジェ・シ・アル¹⁾, 財団法人大阪府保健医療財団大阪がん循環器病予防センター²⁾
○谷村 満知子(CT)¹⁾, 植村 美佐(CT)¹⁾, 鳥居 貴代(MD)²⁾, 中山 啓三(CT)¹⁾

5) 第 15 回教育研修会

日時：平成 25 年 12 月 15 日（日）

会場：京都市立医科大学附属図書館合同講義棟

参加者：70 名（専門医；11 名、検査士 57 名、その他 2 名）

内容： 教育講演 1 「UICC TNM 知って、つけて、活かす」

寺本 典弘先生（四国がんセンター病理）

教育講演 2 「京都市立病院における CT ガイド下肺穿刺細胞診と細胞検査士会活動について」

三宅 秀一先生（京都市立病院臨床検査技術科）

スライドカンファレンス：

症例 1（子宮頸部 LBC 標本）

出題者 河崎 瑞枝（京都第一赤十字病院病理診断科部）

回答者 竹中 博昭（舞鶴共済病院臨床検査科）

症例 2（肺穿刺吸引）

出題者 二宮 慶太（京都桂病院検査科）

回答者 松本 孝之（ファルコバイオシステムズ）

日本臨床細胞学会京都府支部決算報告

※ 会計期間 平成25年1月1日～平成25年12月31日

【収入の部】

繰越金					1,382,503 円
入会費	平成25年度分	9 人		9,000 円	
年会費	平成23年度分	2 人		3,000 円	
	平成24年度分	17 人		25,500 円	
	平成25年度分	249 人		373,500 円	
	平成26年度分	1 人		1,500 円	
近畿連合会分担金	平成23年度分	2 人		2,000 円	
	平成24年度分	15 人		15,000 円	
	平成25年度分	225 人		225,000 円	
	平成26年度分	1 人		1,000 円	
雑収入					
・	平成24年度生活習慣病従事者講習会委託料			360,000 円	
・	日細胞京都府支部会第30回学術集会助成金(浜松フォトニクス)			119,932 円	
・	講師料辞退			10,000 円	
・	利子・金利			141 円	
総計					2,528,076 円

【支出の部】

通信連絡費				82,720 円
慶弔費				0 円
旅費交通費				166,850 円
事務用品費				6,850 円
印刷費				121,750 円
講師謝礼費				270,000 円
会場費				142,100 円
什器備品費				0 円
専門医部会				0 円
検査士部会				10,000 円
雑費				198,413 円
近畿連合会費(217名分)				217,000 円
繰越金				1,312,393 円
総計				2,528,076 円

平成26年1月6日
 会計担当幹事
 川村 敏文

平成26年活動計画 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

- 1) 平成26年日本臨床細胞学会京都府支部総会ならびに第27回生活習慣病予防検診細胞診従事者研修会
日時：平成26年2月23日(日)
会場：京都キャンパスプラザ
内容： 講演1 『子宮頸部細胞診断のUp to Date』 三上芳喜 先生 (京都大学附属病院病理診断科)
講演2 『科学的根拠に基づく子宮がん検診と四葉のクローバー』 土橋 康成 先生 (京都府医師会子宮がん検診委員会精度管理小委員会委員、ルイ・パスツール医学研究センター)
講演3 『子宮頸がん検診の現状・滋賀県での取り組み』 高橋 健太郎 先生 (滋賀医科大学周産期医療学講座)
- 2) 子宮の日 子宮頸がん検診啓発活動
期日：平成26年4月20日(日)
会場：ゼスト御池
内容：講演、パネルディスカッション、演奏会、ダンス等
- 3) 第31回京都臨床細胞学会学術集会
期日：平成26年7月20日(日)
会場：京都大学百周年時計台記念国際交流ホール
- 4) 第16回教育研修会
日時：平成26年12月21日(日) (あるいは14日(日))
会場：未定

平成26年日細胞京都府支部予算書

※ 会計期間 平成26年1月1日～平成26年12月31日

【収入の部】

繰越金		1,312,393 円
入会金	10 人	10,000 円
年会費	258 人	387,000 円
近畿連合会分担金	233 人	233,000 円
雑収入		
平成25年度生活習慣病従事者講習会委託料		360,000 円
利子・金利		130 円
総計		2,302,523 円

【支出の部】

通信連絡費		70,000 円
慶弔費		15,000 円
旅費交通費		100,000 円
事務用品費		20,000 円
印刷費		65,000 円
講師謝礼費		250,000 円
会場費		220,000 円
什器備品費		10,000 円
専門医部会		15,000 円
検査士部会		15,000 円
雑費		180,000 円
近畿連合会費(243名分)		243,000 円
繰越金		1,099,523 円
総計		2,302,523 円

平成26年1月7日
 会計担当幹事
 川村敏文

【平成25年会員情報(2013.12.31現在)】

京都府支部会員数 260人 (内 他重複会員25人・新入会9人) 退会 7人
 (内訳: 専門医 50人、医師 7人、細胞検査士 203人)
 会費(年会費・連合会費)未納者
 平成25年分13人(内平成24年分未納5人含む)

京都臨床細胞学会則

- 第一条 本会は京都臨床細胞学会と称する。
第二条 本会の事務局は、幹事会の協議を経て会長が決定する。

目的と事業

- 第三条 本会は京都府における臨床細胞学の進歩発展並びに普及を図り、あわせて京都府域における医療の向上に貢献することを目的とする。
第四条 本会は目的達成のため学術集会をはじめその他の必要な事業を行う。

会 員

- 第五条 臨床細胞学を学び実践する者で、本会の目的に賛同するものは、所定の手続きを経て会員となることが出来る。
2. 年会費は毎年12月31日までに、その年度の会費を納めなければならない。3年以上会費を滞納している者は、退会扱いとする。

- 第六条 本会の事業に寄付その他の援助を与える団体、または個人を賛助会員とすることができる。

役 員

- 第七条 本会に下記の役員を置く。
会長 1名、 専門医会長1名、 検査士会長1名、
幹事 必要名 監事 2名
幹事会は本会に在籍する日本臨床細胞学会理事、評議員に加え、既存幹事会を母体として推薦を受け、総会にて承認された細胞診専門医、および細胞検査士の代表をもって構成することとする。なお幹事総数は、既存幹事会の議を経た必要数とする。監事は、会長が推薦し総会で承認を受けた、細胞診専門医および細胞検査士の代表各一名で構成する。
又本会に顧問を置くこととする。顧問は幹事会で決定し、幹事会への陪席等により本会の指導を仰ぐ。

- 第八条 会長は幹事の互選により決定する。また各役員の任期は3年とする。但し再任を妨げない。

会議の開催

- 第九条 本会は、定例および必要に応じて臨時の幹事会を開催するとともに、毎年1回の総会を開催する。

学術集会等

- 第十条 本会は毎年、学術集会、教育研修会、生活習慣病従事者研修会、およびその他の研究／研修会を開催することとする。

専門医会および検査士会

- 第十一条 本会の部会組織として、本会に在籍する細胞診専門医全員から構成される専門医会、および細胞検査士全員から構成される検査士会を置くこととし、毎年1回以上、それぞれの部会を開催することとする。

- 第十二条 専門医会および検査士会の長は、会長の推薦により総会において決定することとする。

各種委員会

- 第十三条 本会の事業推進の為に、幹事会決定により各種委員会を置くことが出来る。
第十四条 各種委員会の構成と運営は、専門医会と検査士会の協力の下に行うことを原則とする。

会 計

- 第十五条 本会の経費は別途定める入会金、年会費、賛助会費、寄付金を以てこれにあてる。
第十六条 本会の会計は1月1日に始まり12月31日に終わる。
第十七条 本会の会計は幹事の内1名が担当する。

会計報告・監査

- 第十八条 会計を担当する幹事は、前年度の会計結果を整理し、監事による監査を受けると共に、その結果を総会に報告し、承認を受けなければならない。

会則の変更

第十九条 本会の会則の変更は幹事会の協議を経て総会に於いて決定する。

第二十条 本規約に定めのない事項については、幹事会の協議により決定することとする。

附 則

1. 本会の入会金は 1,000 円とし、年会費は医師会員、技師会員ともに 1,500 円とする。但し近畿連合会分担金は含まず、分担金は値上げに応じて、年会費と併せて徴収する。

2. 賛助会費は一口1万円とする。

3. 本会則は、平成7年1月1日施行の会則を改正し、平成12年7月9日から施行するものである。また、平成12年7月に選任される役員に限り、その任期を2年とする。

4. 活動費について該当参集毎に、各参集者に交通費を実費支給する。また夕食時間をまたいで夕刻からの参集であった場合には、事務局が、当面参集者一人一回500円相当の軽食を用意することが出来ることとする。また参集者の時間的都合によっては一人一回500円を賄い費として実費で支給出来ることとする。またこれら賄いに加えて、簡素な内容とすることを原則として、事務局は参集者に対して茶菓子と紙皿、紙コップなど使い捨て器等を現物支給出来ることとする。

但し、本会の学術集会・研修会など公式行事の折りに開催される幹事会、各種委員会などへの出席参集の際には、参集者に対して交通費の支給は行わない。

一方、昼食時間をはさむ幹事会、各種委員会の開催においては、上記と同様に、簡素な内容とすることを原則として、出席者に対して弁当、茶菓子、使い捨て器等の現物支給を行うことが出来ることとする。

また本会を代表して日本臨床細胞学会や近畿連合会の会合に本会会員が出席する場合で、近畿連合会や本学会から交通費、賄い費の支給がない場合には、本会からそれらを支給することが出来ることとする。

交通費、賄い費の執行とその会計の透明性を保つ為に、会計担当者は本費目に対して交通費等支払い明細表を整え、幹事会の折りにこれを閲覧可能とする。

5. 講師料について本会会員が講演する場合は1万円、本会会員以外の先生が講演する場合は5万円とする。但し、講師の保有資格、立場を鑑みて必要ならば増額または減額することができる。また交通費は実費相当分を負担する。

6. 平成 26 年 2 月 23 日 改訂

平成 26 年度新役員

役職1	役職2	氏名	所属	資格
幹事	会長	羽賀 博典	京都大学医学部附属病院 病理診断科	専門医
幹事	専門医部会長	岸本 光夫	京都府立医科大学附属病院 病院病理部	専門医
幹事	検査士部会長	豊山 浩祥	京都桂病院	検査士
幹事	事務局長	白波瀬 浩幸	京都大学医学部附属病院 病理診断科	検査士
幹事	庶務・会計	川村 敏文	京都府立医科大学 病理学講座	検査士
幹事	庶務・会計	由木 はる美	京都府立医科大学附属病院 病院病理部	検査士
幹事	学術委員長	伊東 恭子	京都府立医科大学附属病院 分子病態病理学	専門医
幹事	学術副委員長	江口 光徳	宇治徳洲会病院	検査士
幹事	学術委員	山野 剛	京都第二赤十字病院	専門医
幹事	学術委員	樋野 陽子	京都第一赤十字病院	専門医
幹事	学術委員	村上 隆介	京都大学医学部附属病院 産婦人科	専門医
幹事	学術委員	山口 直則	綾部市立病院	検査士
幹事	学術委員	谷村 満知子	ジェイ・シ・アル	検査士
幹事	学術委員	古市 佳也	京都市立病院	検査士
幹事	学術委員	後藤 渉子	明治国際医療大学	検査士
幹事	教育委員長	桂 奏	京都第二赤十字病院	専門医
幹事	教育副委員長	大上 哲也	京都医療センター	検査士
幹事	教育委員・精度管理員	南口 早智子	京都大学医学部附属病院 病理診断科	専門医
幹事	教育委員	安井 寛	洛和会音羽病院	専門医
幹事	教育委員	山本 鉄郎	国立病院機構京都医療センター	専門医
幹事	教育委員	真下 照子	京都第二赤十字病院	検査士
幹事	教育委員	重野 恭子	洛和会音羽病院	検査士
幹事	教育委員	青木 一美	新京都南病院	検査士
幹事	精度管理委員長	林 久志	ファルコバイオシステムズ	検査士
幹事	精度管理副委員長	澤田 守男	京都府立医科大学 産婦人科	専門医
幹事	精度管理委員	森 泰輔	京都府立医科大学 産婦人科	専門医
幹事	精度管理委員	加藤 順子	日本セルネット	検査士
幹事	精度管理委員	神崎 由佳	京都民医連中央病院	検査士
幹事	精度管理委員	河田 尚子	舞鶴共済病院	検査士
幹事	精度管理委員	苅田 健	京都第一赤十字病院	検査士
監事		高橋 玲	同志社女子大学	専門医
監事		村田 健司	日本セルネット	検査士